

令和元年5月29日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院救命救急センターに、脳卒中もしくは心筋梗塞等で救急搬送された患者さんへ

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

急性期における病院前トリアージと ICT 情報連携 (Cloud ER) に関する研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 教授 加藤 正哉

3. 研究の目的及び医学的意義

タブレットを用いた ICT システムを導入することによって、脳卒中及び心筋梗塞が疑われる患者さんをスムーズに病院に搬送し、搬送後の治療もスムーズに行われることを期待しています。この研究は、主に ICT システムを導入することによる搬送後の時間経過の変化を調べるものです。また、救急隊による ICT システムへの入力内容と、病院到着後に確定する診断名との関係性も調べます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

平成29年11月1日から令和2年3月31日までの期間中に、和歌山市消防局管内から本院へ搬送され、脳卒中もしくは心筋梗塞が疑われた患者さんです。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者背景に関する情報(年齢、性別、病院到着時間、曜日、症状、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度、診断名、不整脈や高血圧などの脳卒中や心筋梗塞に関連のある基礎疾患の有無)や治療に関連した項目(病院到着から治療開始までにかかった時間、治療内容など)です。

(3) 方法

当講座にて対象患者におけるデータを収集します。収集したデータについて、匿名化の対応を行い、匿名化されたデータのみを統計解析担当者(東京慈恵会医科大学)に送付します。統計解析担当者は送付されたデータの解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除

外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 担当医師 山口 智由

TEL:073-447-0603 FAX:073-447-2360

E-mail:ty-circ@wakayama-med.ac.jp (山口)